

# 平成23年度 「もっと現場を知る！職員短期派遣研修」報告書

人事課 三島正司

## 1. 派遣先団体

特定非営利活動法人<sup>くまい</sup>久米の家（松江市法吉町久米8-03-2）

### 【活動内容】

高齢者の福祉を必要とする人に対して自立した生活を支えるために、通い・訪問・介護・支援に関する行いをもって社会福祉の増進に寄与する。

- ・認知症対応型共同生活介護
- ・共用型認知症対応型通所介護
- ・小規模多機能型居宅介護

## 2. 研修日

7月23日、8月27日、9月3日、9月10日、10月1日 計5日間

## 3. 研修概要

法人が運営する2施設の業務従事

### 1) グループホーム「久米の家」

最初の2日間は、グループホームでの研修であった。入所者は9名。加えて1名が通所しておられる。一番高齢の方は99歳。スタッフの皆さんが家族的に接しておられる様子が暖かい。

主な業務として、利用者の話し相手、散策の同行、夏祭りの準備運営の手伝い、生活行動の支援（洗濯物干しの手伝い）、合唱への参加などをさせていただいた。

入所者の皆さんが出来ることは自分でしてもらうという基本姿勢で運営しておられる中、皆さんとの距離感がつかみにくかったが、研修でお邪魔している身としては、寄り添う感じで接すればいいのかなあと、思うに到った。

認知症対応型共同生活介護施設であり、認知症の高齢者が少人数で生活しながら入浴や食事等のお世話、機能訓練などが行われています。共同スペースを利用した通所介護も併せて実施しており、食事の支度、掃除、洗濯等をスタッフの手を借りながら各自ができる部分を行い、家庭的でゆったりと安定した環境の中で、失われかけた能力を再び引き出し、潜在的な力を伸ばすように働きかけています。



### 2) 小規模多機能型居宅介護施設「ほっと」

後半の3日間は、隣接する小規模多機能型居宅介護施設「ほっと」で研修させていただいた。14～15名の方が利用しておられたが、利用者の顔ぶれは毎回変わって

デイサービスを中心に訪問介護やショートステイを組み合わせ、在宅での生活を支援する施設。通いを中心として、要介護者の様態や希望に応じて、随時訪問や泊りを組み合わせ、中重度になっても在宅での生活が継続できるように支援しています。

いて、沢山の方々とのふれあいがあった。この施設での最高齢の方は98歳。その他の皆さんも、いずれも人生の大先輩ばかり。こちらのスタッフの皆さんも、優しく丁寧に接しておられる。そして、「久米の家」も同様だが、食事づくりから掃除、機能訓練まで実にこまごまと仕事をしておられた。



「ほっと」での主な業務としては、利用者の話し相手、体操・ゲームへの参加、ボランティアによるコンサートの参加、合唱への参加、食事の準備等の手伝いなどであった。

#### 4. 研修を終えて

自然に囲まれた環境のなか、基本理念として掲げられる“一緒に・楽しく・ゆっくり・穏やかに”を実践しておられることを実感した。アットホームであり、スタッフ全員が一人一人の利用者さんの状況に応じた対応をとっておられ、決して急がず、心を寄り添わせている姿勢に感銘を受けた。象徴的なのが、若いスタッフの皆さんがかなりの“出雲弁”でしゃべっていること。利用者の皆さんへの心配りの賜物か。

また、毎月ボランティアによるコンサートが開催され、夏祭りには家族や地域の方々が集われるのを目にした。特に家族の皆さんが顔の見える地域の施設として信頼を寄せておられる様子がよく伺われ、地域に根差した家族的な施設を、地域に根差したNPO法人が運営することの意義を感じた。

これまで福祉分野での業務経験がなく、福祉に関する基本的認識も不足している中で研修を受けさせていただいた。「久米の家」様には足手まといだったと思いますが、受け容れていただいたことに心から感謝しています。

松浦理事長様には、NPO法人も様々な分野での活動があり、その活動内容によって抱える課題も様々と教えていただいた。一方で、強い意志を持って施設を運営するとともに、地域を支えておられることを実感し、協働の意義を感じた研修であった。